

ケミカルリサイクル品 ポリアミド66



開発中

(2028年上市予定)

CEとCNに貢献できるポリアミド66

ユーザーメリット

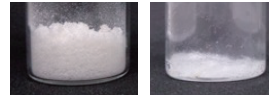
- ▶ バージン材と同等の品質ながら従来の石化品に対してCFPを50%以上削減できます。
- ▶ 何度でもリサイクルできます。
- ▶ 樹脂、繊維と用途を問わず、利用できます。
- ▶ リサイクルの原料となる廃ポリアミドの選択肢の幅が広く、技術的には繊維からGF強化樹脂、複合材などを用いる事ができます。
(ただし、経済合理性の検証は、必要です。)

ケミカルリサイクルのスキーム

- ① 廃ポリアミド回収 → ② マイクロ波による解重合 → ③ 分離・精製 → ④ 再重合



市場回収品ラジエータータンク
(PA66 + GF30%)



ADA HMD



残渣(GF等)

お客様からの声

- ▶ 高品質のケミカルリサイクル品で同時にCFPの削減率が大いことは魅力的

採用実績

- ▶ サンプルワーク前ですが(2025年度にサンプルワーク開始予定)、アパレル業界、工業・E&E、自動車業界と幅広い業界から問い合わせを受けています。

その他製品情報

競争優位性	市場に比較可能な製品がないため今後、検討予定です。
サステナビリティ	バージン材と同等の品質ながら従来の石化品に対してCFPを50%以上削減できます。
背反懸念事項	製造量、製造コストは回収する廃ポリアミドに依存します。 設備投資も大きいいため、バージン品に対し、製造コストアップが見込まれます。